

会 議 録

1 会議名

令和7年度第2回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的審議事項（公開）

（1）旧安塚中学校の利活用について

○その他（公開）

3 開催日時

令和7年5月27日（火）午後6時30分から午後7時37分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山委員、池田（正）委員、池田（康）委員、和泉委員、岩崎委員、新保副会長、滝沢委員、中村委員、松野委員、山岸委員、吉野会長
- ・ 事務局：安塚区総合事務所 今井所長、井部次長、保高地域振興班長、本山会計年度任用職員

8 発言の内容（要旨）

【吉野会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 横尾委員の欠席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私の方で対応する。

それでは次第2、自主的審議事項（1）旧安塚中学校の利活用について、議事を進める。

まず、廃校施設の利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査に関連し、先日、校舎などの現地見学会が開かれた。旧安塚中学校にも見学者が訪れたので、その様子を事務局が説明する。

【保高班長】

先日、廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型の市場調査の現地見学会が行われ、旧安塚中学校にも見学者が入ったので、このことを説明させていただく。

実施されたのは5月9日の金曜日で、旧安塚中学校に関しては午前中に見学が行われた。3事業者6人が見学に訪れた。

当日は教育・文化グループ野口グループ長が説明し、旧安塚中学校が令和6年の3月末まで稼働していたために、閉校後、それほど時間が経っていないこと、雪冷房、太陽光発電を利用できる施設であることなどをアピールした。見学者の企業名、反応、質問の内容等は総合事務所と担当課で情報共有をしているが、まだ各事業者が内部検討している段階であり、当面は非公開とさせていただく。今後、6月に市場調査が行われ、関心を持つ事業者からその際に意見を聞くことになっている。その結果の概要は7月頃に公表されることとなっているため、改めて説明させていただく。

【吉野会長】

ただ今の説明について質問はあるか。

（特になし）

次に、利活用に係る自主的審議の一環として、「やすづか学園の移転」と「データセンターの誘致」に関しては関係者と意見交換を行う計画としていた。

事務局が先方の都合を聞き取っているようなので、説明をお願いします。

【保高班長】

資料№1により説明。

【吉野会長】

今の説明を基に協議に入る。

始めに、やすづか学園に係る関係者との意見交換会の実施について決めたいと思う。訪問する時間帯は動かさないだろうが、日を決めたいと思う。

（挙手の結果、6月11日に都合がつく委員5名、6月18日に都合がつく委員7名）

6月18日に決定する。皆さんには後ほど、事務局から出欠席と公用車の乗り合わせ

の希望などを再確認するため、文書や電話で連絡する。

次にデータセンターの誘致の件だが、旧雪だるま財団の伊藤先生を招いて講話を聴き、質疑応答をすることは、本来、既定方針であったが、やった方が良いかどうか、もう一度、確認を取りたい。いかがか。

【池田（正）委員】

資料には伊藤先生が言われた内容が書き出されているが、これをクリアして誘致することはできるかどうか。

【吉野会長】

他にあるか。

【松野委員】

話は戻るが、サウンディング調査で3事業所の方がいらしたという話があったが、この方々から6月に、私たちは旧安塚中学校をこのように使いたいという話が出てきたら、地域協議会での議論はどのような形になるのか。

【吉野会長】

その点について、市は地域協議会で話を進めているのであればどんどん進めてください、という言い方をしている。それ以上でもそれ以下でもない。所長、いかがか。

【今井所長】

資産活用課からは、サウンディングをやるからといって地域協議会での議論を止めることはしないで良いとの説明を受けている。基本的にサウンディングは調査なので、市場に見込み、メリットがあるかを調査し、その調査を基にプロポーザル入札でこの施設を使いたい者を募り、条件を付ける形である。観光物産センターの場合もそうだった。

地域協議会で協議していただいた結論を見ないと、プロポーザルの中に盛り込めるかどうかをはっきりとは申し上げられない。今はサウンディング調査をする段階なので、今回、参加した業者さんの名前を言うこともできない。誰が参加したか言えるようであれば、多少、違ったことも申し上げられるが、資産活用課としては調査の段階であるため、現時点でデータセンターは見込みがないからやめてほしい、議論をしないでほしいとか、トランポリンの施設は市が考えているものと違うからやめてほしいとは言える立場にないとのことで、協議会として議論していただいて結構ということである。地域協議会からもらった意見書を、プロポーザルをやるときにどう反映するかは、また地域と議論をしながらという思いを持っていると聞いている。

【新保副会長】

サウンディング調査に来られた業者は、必ずプロポーザルに来るとは限らないのか。

【今井所長】

限らない。プロポーザルの中身が、来た方々の思いと違うような制約がかかるとすれば来ない。どのようにしたらどのように使ってもらえるかを調査するのがサウンディング型の市場調査である。

【吉野会長】

今、旧安塚中学校は普通財産に位置づけられていて、普通財産は経済的効果をどれだけ素早くあげるかが重要になる。上越市は、行政としてはかなり縦割りで、資産活用課にすれば一刻も早く不要資産を現金化したくて仕方がないのだろうと思う。そういうせめぎ合いの中で、地域協議会の意見書がどのように位置づけられていくのか不透明だが、現段階では決して地域協議会での検討を妨げることはしないということだ。その辺、地域政策課とか教育総務課、或いは資産活用課の間で横串が通ればかなり良いと思うが、資産活用課が課の使命として、不要資産の早い処分という形のみで考えるのならば、地域がどうなるこうなるという問題でなくて、自分たちが持っている不要資産を早期に処分したい、そこへ行ってしまうのではないかと、実は私も焦りを感じている。ここから先、やすづか学園にしる、データセンターにしる、和泉さんのおっしゃる商業集積の場所にしても、なかなか難しいと思いながら焦っている。だが、焦ったからといって急いでやってみても仕方がないので、慎重にできるだけ丁寧に進めたいと思っているが、ある程度、目処をつけてやらなければいけないと思っている。松野委員よろしいか。

【松野委員】

非常にまだガラスが曇っている。今回、現地見学会に誰も来なかったのなら、それはそれで魅力がなくて、であれば地域協議会が頑張って方向性を示していくかという話になる。この3事業者の方が6月とか7月にどんな形で入って来られるか、入って来られないのかも知れないが、今回、現地見学会に来られたということは、多分、市は淡い期待をお持ちだと思う。現地見学会の様子は分からないのでこれ以上は言えないが、今の段階では、どうなのかなあという思いはある。

【吉野会長】

プロポーザルの段階では、現地見学会に行ったとか行かないとかはほとんど条件に入らない。それによって優遇されるとかはしない。

【松野委員】

しつこいようだが、何か興味を示さなければ誰も来ないと思う。旧安塚中学校というものに関して何かの魅力があったか、自分たちが考えていることがあったから行ってみようかなと。これから参加するかしないかは別だと思うが、何か引っかかる部分があったと思う。

そう考えた場合、6月とか7月に出てきた時に、本当に地域協議会といろいろな協議ができるのかどうか、先ほどからできるという話だからそうなのかなと思うが、できないとするならば、今、検討していることは何なのかという気持ちになってしまう。

【吉野会長】

やってみただけ空振りだったねという話になりそうな感じはある。ただ自治法上、地域協議会が提出した意見書については市長がそれを勘案し、適切と思うときは適切な措置をしなければならないと義務付けられている。市長までそれが上がっていくかどうかは別問題で、内部の問題で分からないけれど、そのような法律の建て付けになっているため、結構、地域協議会の意見書というものは強いものがある。

プロポーザルが、以前に所長が言われたように11月、12月頃に始まるかも知れないということならば、ゆっくりもしていられないと思うのだが、慎重にやらないと駄目だなということもある。ここで諦めることなく、やることはやってみようとは私は思っている。皆さんどうか。

【和泉委員】

ちょっと話を前に戻すが、データセンターの社長さんの話の経過で資料をみるとハードルが高いことが分かるが、せっかく上がってきた案なのだし、今後に関心を生かせる部分もあるのではないかなと思うので、聞いても良いのではないかなと思う。今後の安塚区地域協議会で議論していく中で、自分たちの知識として蓄積できるのであれば聞いた方が良い。

今まで議論してきたことは、それが失敗したとしても絶対に無駄にならないと思う。やったことは蓄積されていて、自分たちの協議会として今後に進めていく議論の中では生かされると思うので、まだ、海のものとも山のものとも分からないもの考えるよりは、今までやってきたことを進めて行った方が良いのではないかな。

今、3案が出ているが、意見書を提出するにあたって提案を一本に絞るのではなくて、優先順位をつけて作成するのはどうか。例えば、一位で商業施設を上げる、それを市で

揉んでもらって駄目だとしたら、次に安塚区としての第2案を上げるということは可能か。同じ旧安塚中学校の利活用の中で、内容が違うことを分けて上げるということは可能か。事務局に確認したい。

【吉野会長】

それについては3案をまとめて、優先順位を決めて出すこともできる。意見書の書きぶりでできると思うが、優先順位1位、2位の基準をどこに置くのか、そうすると実現可能性ということが相当に大きな意味を持ってくるだろうと私は思っている。前々からこういったやり方でやったほうが良いかなと思いながら、話を進めてきた。

【和泉委員】

地域協議会は地域の課題や活性化策の策定というところを協議するならば、それに合致するような内容で、優先順位をつけて上げていけば良いと私は思う。

【吉野会長】

私も、伊藤先生に関してはお招きして話を聞きましょうということで既に皆さんと進めてきたので、そっちの方向で進めさせていただいてよいか。

(異議なし)

事務局の方で日程の調整をお願いします。6月の定例会に間に合うようにお願いしたい。

【保高班長】

6月は無理である。

【吉野会長】

日程だけでも決めていただいて、書面で選んでいただくことでやったらどうか。

【保高班長】

先生も多忙とみえて、なかなか連絡がつかない状態で短期間に日程調整することが不可能な状態である。近々に調整することは難しいが、まずは先生と連絡を取り、いつが適当な時期なのか調べ、皆さんの日程と調整させていただきたい。

【吉野会長】

プロポーザルの時期が目の前に見えてきているので、焦りもあるが宜しく願いたい。

先回、和泉委員から出された案に皆さんから質問等はあるか。

(質問等なし)

【和泉委員】

逆に、私から皆さんに質問させていただく。これは安塚区の活性化策になるかならないか。

【吉野会長】

和泉委員から体験型の施設に食堂等の商業が集積した形のものをとおっしゃった時に、これは果たして、安塚として将来に向けて活性化していくかどうかという逆質問があったが、そうしたいために提案が出ているのではないか。ただ、みんな、うまくいけばなるだろうと思っていると思う。

【秋山委員】

皆さんのあれをしたい、これをしたいというのは分かるが、結局、企業が来てくれるかどうかだ。そうすると、安塚の魅力を伝える方法を考えなければならない。これが良い、あれが良いと言っても、それに企業がメリットを感じなければ、ここで話し合っていることが何もならないと思う。時間の無駄である。そうではなくて、企業がどうしたら来てくれるか、その魅力を伝える方策を考えた方が良いと思う。今の話など、すごく無駄な気がしている。

【吉野会長】

私の司会が上手くないところもあるかも知れないが、要するに、こういったメリットがあるという発信をしなければ駄目だという意見だろうと思う。しかし、まだその段階に至っていないと思っている。今はアイデア出しみたいな段階になっていて、そういう意味ではそろそろまとめに入って、もし11月頃にプロポーザルがあるとするなら、9月か10月頃にはこういう方向で行こうという結論を出す会議に切り替えなければならないと思っている。その時にはきちんとアイデアを出して発信をしていけば良いのではないかとと思っている。

【秋山委員】

プロポーザルに向かったとしても、どのような企業が参加してくれるかというところになってくると思う。例えば我々が商業施設を切望したとしても、プロポーザルに参加してくれる企業が例えば福祉施設に利用したいとか、そのような企業であれば完全にアウトである。このサウンディング調査でどの企業が来たか分からないのが事実であるが、果たして、我々がいくらこちらの方針でいきたいとしても、企業に来るメリットがあるかどうか。どの企業が来ても、こういう企業にはこういうメリットがある、こういう企業にはこういうメリットがあるという方針で話をしていったほうが良いのではないか。

例えば、我々で商業施設が欲しい、そうしますと言っても企業との意見が合わなければなんにもならないと思う。こういう施設にはこういうメリットがあるというのを探さなければならぬ。それを提言しなければならないのではないかな。

【吉野会長】

言われていることは十分に理解できるが、私自身は市が腰を上げるかどうかだと思っている。

【秋山委員】

市が腰を上げるために、魅力、メリットを提示する必要があるのではないかな。こういう施設が欲しいといくら言っても、市は腰を上げないと思う。お金を出す気もないから、結局は企業探しになると思う。我々がいくら議論しても、我々も金がない訳だからスポンサー探しになる。だから、安塚に来るメリットを打ち出さないと、なんにもならない。企業も、メリットのない所に親切心で来る訳ではない。その辺を、もうちょっと突っ込んで考えた方がよい。

【和泉委員】

結局、協議会としての最終段階は意見書の提出である。会長がずっと言っているとおり、丁寧なものを上げなければならないが、実際に上げて判断するのは市なので、それを上げて駄目ならそれはそれでよいと思う。

先ほども言ったが、今、議論していることは絶対に無駄ではない。なので、出したからこれを絶対やってくれではなく、安塚の協議会として、皆さんで揉んで1から3案を意見書として提出し、戻ってきた答えが駄目であろうがよいであろうが、それはどっちでも良くて、皆さんと揉んで結果を出したい。これでなければいけないというのは、正直に言ってない。私としては、皆さんで揉んで判断していただければよい。

【吉野会長】

企業探しからそういうところまでとなると、それは我々の分を超えたところがあるとの意見だったと思うが、結局は意見書を出して、それを市が採択するかしないかの問題で、採択されるような意見書にどうまとめられるかが我々の立場であり、秋山委員の言われることは、個別具体的にやっていった方がよいということだろうと思うが、我々の分を超えていてなかなか難しい。

【秋山委員】

企業を選ぶのではなくて、安塚に来ればこんなに良い点があるということだけでよい

と思う。お話しのように、我々がこういう企業に来て欲しいではなくて、安塚に来るとこんなメリットがありますよ、というところだけを押さえておけば、そういう意見書で良いと思う。例えば旧安塚中学校には太陽光発電があります、雪冷房があります、そういったメリットがあります、だからこれを利活用できる企業さんどうですか、立地条件はこうですからどうですか、というメリットを押さえておけば良いのではないか。どういうふうに利用して欲しいというのは、絶対に無理だと思う。我々がそう言っても選ぶのは企業なので、そういうメリットを押さえておくことが良いと思う。ここまでの1年間の話し合いで私はそういうふうにいる。

【吉野会長】

言われていることは分かった。それは間違いなく、意見書に有利な点として書き込まれるはずである。皆さんのほうで何かあるか。

【池田（康）委員】

最初に事務局が5月9日に見学し、6月に入って対話があつて、7月に公表すると言われたが、公表とは具体的に何を公表するのか。

【保高班長】

まず時系列で説明すると、4月にサウンディングの取組をするという資料が公表された。今回はその補足として、校舎の状態などをきちんと説明するために、希望を取って企業さんを現地案内したという段階である。具体的なサウンディングの話し合いはまだ始まっていない。一方的に説明をした段階である。

興味を持った企業との対話が6月に行われる予定である。希望が出ているかどうかは公表されていないため私どもも分からない。この協議の結果がどんな形か、詳細は分からないが、概要が7月に出されると要項に書かれている。出せる情報は地域協議会の皆さんにも提供させていただく。

【池田（康）委員】

ということは、公表するのは企業名か。それとも企業名と中学校名も公表されるか。

【吉野会長】

6月に入ると市場調査が始まる。今はまだ現地見学の段階である。これならやれるとなれば次の段階で計画書を出してくる。それで市との話し合いの中で市場調査をする。その時には企業名とか公表されるのではないか。

【井部次長】

前回の地域協議会では参考資料ということで、観光物産センターと海洋フィッシングセンターの市場調査の結果をお配りした。内容としては施設の概要、今後のスケジュール、参加していただいた企業の数、提案の内容などが公表されている。企業名は公表されていない。

【今井所長】

今回のサウンディング調査はまだ途中なので、公表するかどうかは事務局が答えたとおりである。前回の協議会で、他のサウンディング調査の結果を付けさせていただいた。恐らく似たような形の公表になると思われる。

【吉野会長】

ひな形を見れば、エントリーシートを出すようだ。それでも企業名は出ないか。

【今井所長】

市のホームページで公表しているので、(資料は) これ以上でもこれ以下でもない。

【吉野会長】

前にキューピットバレイの運営会社を探すときに、市のほうで二者を指名して今のスマイルリゾートに決まった経緯がある。市がパッと決めてしまうのだなというのが残っていて、皆さんもちょっと不安に思うところもあるかと思った。それは我々が今やっている、意見書を提出することとは別次元の話だから、それを視野に入れながら、何とか間に合うようにきちんとやっていきたい。それでは、自主的審議事項についてはこれで終了する。

私から二点、お話をさせていただきたい。

先般、合併20周年記念式典に参加してきた。高田高校の合唱部の唱歌から始まり、上越高校のダンス部、おもてなし武将隊のパフォーマンスでエンディングを迎え、華やかで、且つ、それなりに厳かな中で行われたことを報告する。

二つ目は、先般、NPO雪のふるさと安塚さんと懇談をした。あと、町内会長協議会との懇談は既に既定方針になっているので、これも皆さん、忙しいと思うがせっかく決めたことなので、どこかで日程を調整して実現したいと思っている。皆さんいかがか。

(一同了承)

では、その方向で事務局は日程調整をお願いしたい。

【保高班長】

日程調整はさせていただく。確認だが、協議会の会議と併せる方針か、それとも懇談

の分だけ会議の開催が増えるということか。

【吉野会長】

NPOさんとの懇談会はそういう形でやらせていただいた。だから、一緒にはやれないので宜しくお願いしたい。

【保高班長】

集まっていただく回数が増えても良いなら、そのように日程を調整させていただく。

【吉野会長】

次回の地域協議会の日程であるが、地域政策課から6月25日（水）に「地域自治推進プロジェクトの制度設計に向けた意見交換会」を行いたいとのことである。事務局、6月25日でよろしかったか。

【保高班長】

25日（水）は他地域と日程が重なっていないことを確認している。

【吉野会長】

6月25日（水）に地域協議会を開催したいと思うが、皆さんよろしいか。

【中村委員】

候補日はその日だけか。

【保高班長】

27日（金）なら空いている。

【中村委員】

25日（水）で良い。

【滝沢委員】

25日（水）は都合が悪いので、欠席させていただきたい。

【吉野会長】

それでは次回の地域協議会は6月25日（水）6時30分から開催する。

以上で第2回安塚区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。